

島根原子力発電所の運転状況（平成22年10月）

I. 1号機

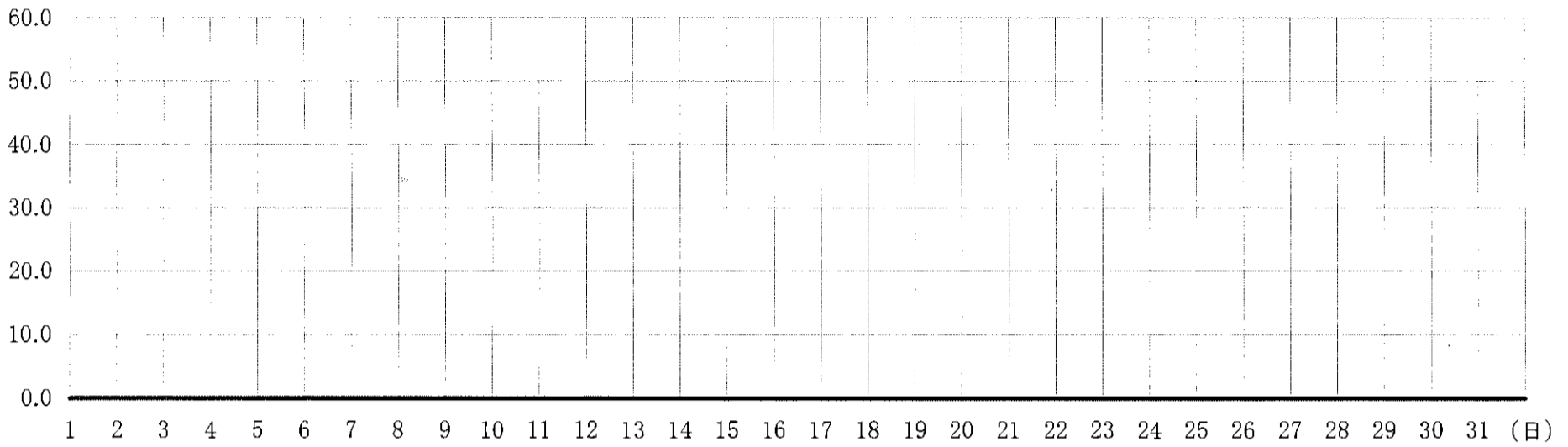
1. 運転状況

発電時間 0 h 発電電力量 0 万 kWh 設備利用率 0 %

2. 主要項目

なし

(万 kW)



3. 特記事項

別紙参照

II. 2号機

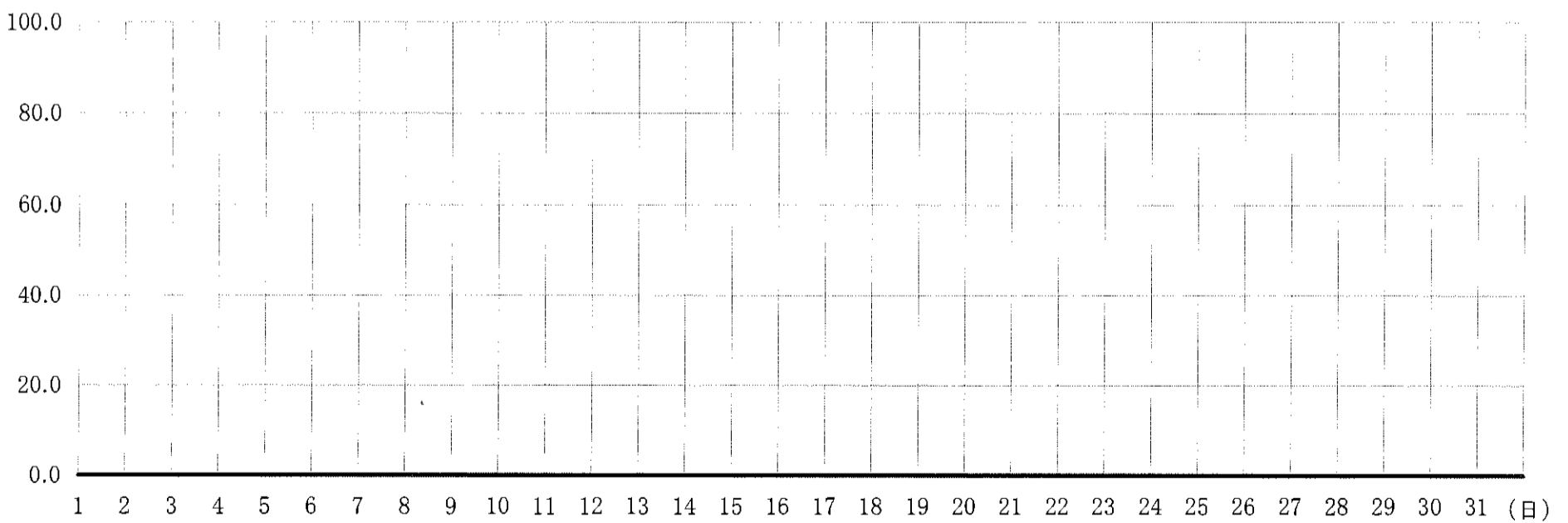
1. 運転状況

発電時間 0 h 発電電力量 0 万 kWh 設備利用率 0 %

2. 主要項目

なし

(万 kW)



3. 特記事項

別紙参照

III. その他

なし

【特記事項（1号機）】

- (1) 停止中（自主点検）

【特記事項（2号機）】

- (1) 第16回定期検査中

- (2) 6月28日（月）14時25分頃、定期検査中の島根原子力発電所2号機の原子炉建物地下1階（放射線管理区域外）において、当社社員が、2系統で構成される原子炉補機海水系の内、一方の系統のドレン配管からの水漏れを確認した。

水漏れは原子炉補機海水ポンプを停止したことにより止まった。

漏えいした水は床面の排水口に流れ込んでおり、床面に残った水溜り（約60リットル）は、紙ウェスにより拭き取り回収した。

調査の結果、原子炉補機海水系ドレン配管の接続部からの放射性物質が含まれていない海水の漏えいであることを確認した。

原因調査の結果、当該配管接続部のゴム製パッキンが長期使用により割れ等の劣化が進んだ状態となっていたところに、原子炉補機海水ポンプの起動・停止に伴う配管内の圧力変動により、パッキンが破損し、海水が漏えいしたものと推定した。

原子炉補機海水系ドレン配管は、点検時に配管内の溜まり水を抜くために設置しており、運転中は使用しない配管であると共に、当該ドレン配管を使用しなくても水抜き作業が可能であることから、当該ドレン配管を撤去することとした。

また、海水系配管の内、ゴム製パッキンを使用している配管接続部について、今後、計画的に点検することとした。

以 上